



# 資源循環への貢献

## 〈省資源・廃棄物削減〉

### 取り組み事例

枯渇性原材料の使用量削減や早期のPCB廃棄物の適正処分、産業廃棄物の埋立量削減に計画的に取り組んでいます。さらに、廃棄物および廃プラスチックのリサイクルに関する目標を設定し、資源循環の取り組みも推進しています。

#### 省資源の推進

枯渇性原材料の歩留まりや製品収率の向上などの省資源活動によって得られた経済効果の拡充に努めています。

#### ■ 枯渇性原材料使用量の推移 (住友化学および国内グループ会社)

(千トン)

	2020年度		2021年度		2022年度	
	住友化学および国内グループ会社	住友化学	住友化学および国内グループ会社	住友化学	住友化学および国内グループ会社	住友化学
炭化水素系化合物	1,704	1,449	1,713	1,429	1,684	1,421
金属(レアメタルを除く)	90.2	86.3	115	111	104	100
レアメタル	12.5	0.1	17.4	0.03	16.2	0.07

(注) 経済効果はデータ編に掲載

#### 廃棄物の適正管理と内部・外部リサイクル量増加の推進

産業廃棄物の発生量削減および再資源化の推進により産業廃棄物埋立量の大幅な削減を実現しています。また、資源有効利用促進法が定める特定資源業種として、副産物(汚泥)の発生削減にも取り組んでいます。さらに、2021年度から新たに廃棄物や廃プラスチックのリサイクルに関する目標を設定し、各事業所やグループ会社での資源循環の取り組みを推進しています。

#### PCB特措法による処分期限を前倒しした微量PCB廃棄物の処理の推進

国内グループ会社共同で外部に処分委託する業者を1社に絞り込み、各社が保管もしくは使用中の微量PCB廃棄物(トランス、コンデンサーなど)について、複数年で処理する計画を策定し推進しています。2025年3月までに対象機器の全数を処理する予定です。



### 正極材のダイレクトリサイクルの取り組み

回収したリチウムイオン二次電池の正極材を、金属に戻すことなく再度正極材としてリサイクルする技術を開発しています。従来の工程を簡素化することでCO<sub>2</sub>の排出を減らし、低エネルギー・低コストで再生正極材を生産することができます。株式会社JERAと共に、NEDO※の「グリーンイノベーション基金事業/次世代蓄電池・次世代モーターの開発プロジェクト」に採択されました。両社で開発および社会実装を推進していきます。

※ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

#### ■ 新たな工程構築のポイントと創出価値

